

令和4年度（2022）北海道花き・野菜技術研修 （総合技術研修・専門技術研修）募集について

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 農業研究本部 花・野菜技術センター

1 研修の構成

研修名	コース（分野）	研修期間	募集人数
総合技術研修	○花きコース	2022年4月12日	10名
	○野菜コース	～10月7日（約6カ月間）※	
専門技術研修	○花き栽培 ○野菜栽培 ○土壌肥料 ○病害虫	1年以内の範囲で任意に設定	各コース 2名程度

※市町村における研修との連携・相互補完を図るため、市町村で研修中（予定を含む）の方が総合技術研修を受講する場合は、期間の変更が可能です。

2 研修内容

（1）総合技術研修

総合技術研修は、花き・野菜の実践的な技術を有する農業者の育成を目的に、花きと野菜のコース別に本センターが定めるカリキュラムに基づき、実際の作物栽培を主体に講義や視察研修などをおして基礎理論から実践技術までを体系的に指導します。

本道の花き・野菜の第一線で活躍中の技術指導者及び外部講師による指導のほか、経験豊富なスタッフが研修全般をバックアップします。

○研修の特徴

基礎理論から実践技術までを講義と演習により段階的に習得します。

・講義

主要な花き又は野菜の特性等、基本的理論を講義形式で学べます。

・栽培演習

主要な花き又は野菜について、講師の指導の下、土壌診断に基づいた施肥設計、育苗、定植、防除等を実際に行うことにより、栽培管理の技能・技法を学べます。

そのほかに受講者が営農時に取り入れたい品目を自主品目として選定し、講師の指導の下、栽培実践を行うことができます。

○受講対象者

高等学校卒業又は同等以上の学力を有し、心身ともに健康で次のいずれかに該当する者。

- ①道内において花き・野菜の生産に従事している者又は従事を志す者
- ②道内の各農業関係機関・団体などで技術指導等に従事している者又は従事を志す者
- ③その他、本センター場長が認める者

○令和4年度（2022）総合技術研修カリキュラム（予定）

講 義		演 習		その他 (視察研修)
花きコース	野菜コース	花きコース	野菜コース	
○主要花きの基礎 7品目程度 ○土壌肥料の基礎 ○病害虫の基礎 ○雑草防除の基礎 ○園芸資材基礎等 ○道産花きの現状 と新技術開発 ○花きの病害 ○花きの害虫 ○土壌と施肥管理 ○花きの鮮度保持 ○花き生産と流通 ○経営管理 ○農業金融制度 ○農地制度 等	○主要野菜の基礎 15品目程度 ○土壌肥料の基礎 ○病害虫の基礎 ○雑草防除の基礎 ○園芸資材基礎等 ○道産野菜の現状 と新技術開発 ○野菜の病害 ○野菜の害虫 ○土壌と施肥管理 ○野菜の鮮度保持 ○野菜生産と流通 ○経営管理 ○農業金融制度 ○農地制度 等	○主要切花の栽培管理 (トルコギキョウ スターチス デルフィニウム 宿根かすみそう ゆり、カーネーション 等) ○花壇苗の栽培管理 ○鉢花の栽培管理 ○土壌分析・施肥設計 ○ハウス設置・撤去 ○増殖技術(挿し芽) ○病害虫診断 ○土壌調査法 ○鮮度保持・調製技術 ○開花調節技術 等	○主要野菜の栽培管理 (メロン、トマト かぼちゃ アスパラガス たまねぎ、キャベツ ブロッコリー ほうれんそう スイートコーン だいこん 等) ○土壌分析・施肥設計 ○ハウス設置・撤去 ○接ぎ木技術(メロン等) ○病害虫診断 ○土壌調査法 ○マルチ資材利用技術 ○野菜移植機操作技術 ○調製技術 等	○卸売市場 ○花・野菜 集出荷施設 ○優良農家 等

注) カリキュラムは予定ですので、栽培品目等については変更する場合があります。

(2) 専門技術研修

高度な専門技術を有する農業者や技術指導者の養成を目的に、担当する研究員等による個別指導を通じて課題解決や各種技術の習得を図ります。

○研修課題及び研修期間の設定

設定された課題によって必要な研修期間が異なるため、営農の都合や指導体制を勘案して個別に開始時期や期間を決定します。1年の範囲内で、数回に分けての受講も可能です。

○コース別研修課題の主なもの

コース(課程)	研修課題の範囲
花き栽培	スターチス、デルフィニウム、トルコギキョウなどの栽培技術
野菜栽培	メロン、かぼちゃ、たまねぎ、トマトなどの栽培技術
土壌肥料	土壌・作物栄養診断技術
病害虫	病害虫診断・防除技術

※期間や詳細な研修内容(課題)などについては、担当研究グループと事務局との調整の上、決定します。

○受講対象者

高等学校卒業又は同等以上の学力を有し、心身ともに健康で次のいずれかに該当する者。

- ①道内において花き・野菜の生産に従事している者
- ②道内の各農業関係機関・団体などで技術指導等に従事している者
- ③道内において花き・野菜の生産や技術指導への従事を志し、大学、短期大学及び専門学校（農業大学校を含む）等で花き・野菜に関する専門教育を受けた者
- ④その他、本センター場長が認める者

3 研修中の生活

受講者は、原則として本センター内に設置している「研修寮」に入寮していただきますが、所定の時間までに通える方についてはこの限りではありません。

(1) 研修時間

月曜日から金曜日（祝祭日を除く）までの9時00分～17時00分となっています。
※右の表は標準的な日課です。
このほかの時間でも自主的管理実習が必要なことがあります。

朝 食	7時30分～ 8時30分
講義・演習・栽培管理	9時00分～12時00分
昼 食	12時00分～13時00分
講義・演習・栽培管理	13時00分～17時00分
夕 食	17時30分～19時00分
門 限	22時00分

(2) 宿泊施設の概要

施設内容	研修生室(個室29室)、談話室(テレビ設置)、浴室(2)、食堂、小体育館
食 事	朝食・昼食・夕食(土日・祝祭日の食事の提供はありません)
洗 濯	全自動洗濯機・乾燥機完備

(3) 研修経費

研修に係る授業料・教材費は不要ですが、研修寮の食費は各自の負担となります。
なお、視察研修等による移動の際は、本センターが用意するバス等を利用しますので、交通費は不要です。

食 費	朝食 324円、昼食 432円、夕食 540円（各1食当たり）
-----	---------------------------------

(4) 持参する物

研修に必要な物	筆記用具、電卓、作業着、雨衣、長靴、軍手、ゴム手袋
生活に必要な物	健康保険証、洗面具、上履き2足(寮及び庁舎用)、パジャマ、タオルケット、洗面と洗濯に伴う消耗品

(5) その他

万一の事故に備え傷害保険への加入が必要となります。

4 申し込み手続き

(1) 申し込み

研修の申し込みは、「研修生願書」（「身上調書」を含む）を記載の上、次表を参考に該当する機関からの推薦を受け、本センターに提出してください。

○推薦機関一覧

区分	推薦機関
農業者（法人の構成員を含む）	管轄する農業改良普及センター所長（支所長）、市町村長
各機関、団体等の職員	所属する機関・団体等の代表者
大学、高校等の学生・卒業予定者	学長・学校長若しくは管轄する農業改良普及センター所長（支所長）
新規就農者（予定者を含む）	就農予定地を管轄する農業改良普及センター所長（支所長）、 公益財団法人北海道農業公社理事長（北海道農業担い手育成 センター）又は市町村長
市町村において農業研修を受講している者（予定者を含む）	農業研修を実施している市町村長

(2) 応募期間

総合技術研修 2021年11月1日(月)～2022年2月28日(月)

専門技術研修 2021年11月1日(月)～2022年2月28日(月)

(3) 受講許可

受講の許可は、書類等を審査のうえ、締切後速やかに本人へに通知します。

許可通知後は、研修の開始までに保証人と連署の上、所定の誓約書を提出いただきます。

5 お問い合わせ先

○地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 農業研究本部 花・野菜技術センター

研究部 技術研修グループ 主査(研修)

〒073-0026 滝川市東滝川735番地

電話 (0125)28-2211 ファクシミリ (0125)28-2299

E-mail sphanayasai@hro.or.jp

URL <http://www.hro.or.jp/list/agricultural/research/hanayasai/index.html>